

中国出身



北方

文学部
人間関係学科 1年

孫嘉凱 ソン カガイ

出身地について

私の故郷、中国山東省イボウ市は風の都と呼ばれる町です。面積はほぼ北九州市の30倍で、人口は900万人です。毎年4月に国際凧あげ大会が開催され、浜の空に満天の凧はすくなく口マンチックです。一番長い凧は7000mもありますよ。世界で一番大きな無軸観覧車もここがあるので、興味がある方は是非一度観に来てください。

北九州はどんな印象ですか？

北九州市に来て、一番驚いたのは山が多いことです。自分の故郷と違って山々が存在感抜群です。緑いっぱいの山を見ると気分転換にもなります。門司港、血倉山、河内藤園など美しい自然、人文や歴史的な景観を楽しみながら、北九州の美食を味わうことで、魂まで洗練されます。

1人暮らしを始めてみてどうですか？

両親から離れて、一人暮らしを初めたら、やはり難しいところもあります。すべての食事は自分で解決しなければならぬし、自分で生活費を稼がないといけません。しかし、自立する力が日々高まっているのも確かです。たまに寂しく感じますが、日本で友達が出来たおかげで助かりました。

北九大を受験しようと思ったきっかけは？

日本語学校の一年間、北九大のGYCやESDプロモート実習が主催したいろいろなイベントに参加しました。日本に来て初めて日本の大学生と友達になって、とても貴重な交流の機会を何度もいただきました。北九大生との交流を通して、だんだん北九大に興味を持つようになりました。

北九大で学んでいて関心が高い授業は何ですか？

関心の高い授業と言えば、やはり社会学と教育学です。自分の両親は教育関係者のため、よくいじめなどの問題を聞いていました。私は社会的弱者に自分の力を生かしたいので、この方面に興味を持つようになりました。

授業以外で取り組んでいることはありますか？

私は大学内の活動だけでなく、学外での活動も積極的にしています。特に、アルバイトでは、大学とは違う社会の雰囲気を感じることができます。また、バイト先の先輩たちとの交流も大学とは違う世界を見ることができます。

目標としていることやこれからチャレンジしたいことは？

私は自分の苗字の英語『Sun』のように、人間界で暖かく輝く太陽のような存在になりたいです。そのため、これから私は専門知識を活用できるように、いろいろな施設に行き実践したいと思っています。



長崎県出身



ひびきの

国際環境学部
エネルギー循環化学科 1年

尾上凜 おのうえりん

出身地について

上五島のいいところは綺麗な海と山に囲まれており自然豊かなところ。夜は星がよく見えてとても綺麗です。島自体がおススメなのですが、特におススメの場所は矢堅目です。青い海とトトロ岩と呼ばれている岩峰を一望できます。矢堅目の駅というところで食べる塩ソフトも格別です。

北九州はどんな印象ですか？

北九州は工業地帯が多いというイメージがありました。実際に大きな煙突や広い工業地帯を見て実感しました。その分、洋上風力やグリーン成長戦略など環境への配慮が想像以上で驚きました。北九州は美味しそうな飲食店がたくさんあるので巡るのが楽しみです！

1人暮らしを始めてみてどうですか？

家事をすべて一人でしなければいけないので正直大変です。特にテスト期間は勉強もしなくてはいけないので、乗り越えることができるか不安になりました。実家のありがたみを改めて実感しました。しかし、スマホやテレビを見てだらだらしても叱ってくれる人がいないので自律心と自立心が養えると思います。

北九大を受験しようと思ったきっかけは？

九州内で燃料電池について学べる大学を探していました。燃料電池を学ぶことができる大学は多くはないなか北九大を見つけました。また、環境について学べることに惹かれました。地球温暖化が進む中環境について学ぶことは将来に活かせると思い北九大に決めました。

北九大で学んでいて関心が高い授業は何ですか？

基礎有機化学です。理由は、内容は難しいのですが、分子結合の仕方やルールがいくつかあって面白いなと感じたからです。

授業以外で取り組んでいることは何かありますか？

飲食店のアルバイトをしています。お客さんと話すのが楽しいですし、笑顔でありがとうと言われるとうれしいです。

目標としていることやこれからチャレンジしたいことは？

将来は水素自動車の普及に貢献できればと思います。そのため、燃料電池の研究をして、そこで得た知識を活かしたいです。



青嵐

題字:阿南 惟正 初代理事長筆



Contents

- 02 | 新任教員紹介
- 03 | キャリアセンター Information
- 04 | 北九大ヘッドライン
- 06 | Pick up 学生プロジェクト
- 08 | 新生活 新入生紹介



新任教員紹介

北方キャンパス

私はマーケティングの理論を用いながら、鶏卵の生産から流通に携わる経営体の持続可能性を高める取り組みについて研究しています。主な研究対象は、鶏卵生産を行う採卵養鶏経営や、それに関連する流通業者です。日本は年間1人当たりの鶏卵消費量が世界で2番目に多い(2021年時点)のですが、近年は鳥インフルエンザの流行や飼料価格の高騰による鶏卵供給の不安定化が社会問題となっています。これらをふまえ、鶏卵の量的かつ質的な確保に向けた課題や成立条件などを検討しています。自分の足で調査先を訪れ、聞き取り調査の実施によりデータを集めているので、自分の研究と現場の活動との繋がりを肌で感じられる点にやりがいがあります。

「マーケティング」と聞くと、どのようにモノを売るかを考えてしまいがちですが、実際は、さまざまな活動を通じてお客様との関係を創造・維持することをいいます。その実現には、消費者ニーズへの対応が重要です。

マーケティングの観点から、持続可能な採卵養鶏経営について研究しています。

たとえば、SDGsに対する世界的な関心の高まりに伴い、鶏卵関連の経営体においても社会的責任の追求が必須となると推測されるため、今後の研究課題としています。

私は学生時代を農学部で過ごしましたが、当時から「よい農畜産物をつくるには？」よりも「よい農畜産物をつくる生産者が持続的な経営を行うには？」に興味がありました。これが動機となってマーケティングを学び、現在は理論的な研究も進めています。経営学も農学も実学である点は共通しているので、現在も双方の観点の適切な組み合わせ方を模索中です。



先生のイチオシ

私は本学の学生さんが地域活動へ積極的に参加されている点に好感をもちました。また、北方キャンパスは、敷地内に植物が多くて緑豊かなところも気に入っています。

経済学部
経営情報学科

橋本 芙奈
講師



ひびきのキャンパス

私は大学で機械工学を学ぶうち、エネルギーに関わる仕事を希望するようになりました。就職して工場や都心で使うオンサイト型の発電設備の設計に携わるようになると、次第に発電所を「建設」するのではなく「計画」することの複雑さに興味を持ちました。その後、大学院への進学を経て、現在は再生可能エネルギーの利用を最大化するために必要な研究を行っています。

今、社会では利便性の追及や再エネ拡大などのニーズから電気エネルギーの重要性がますます高まっています。しかし電気は貯蔵が難しく、再エネの発電出力は天候に併せて変化するという課題があります。水素などの化学エネルギーや、熱エネルギーに変換して蓄熱するなど様々な手法があります。これらの技術を機能させるための方法をシミュレーションしたり、最適な組み合わせを発見したりすることは、実社会を題材にした良質なクイズのようで飽きません。

再生可能エネルギーの研究は、実社会を題材にした良質なクイズのようで飽きません。

「エネルギーシステム解析」の分野は機械工学のほか、電工学、化学工学、物理学、経済学などの様々な領域の専門家が取り組んでいます。影響する範囲が広範な故ですが、専門領域によって視点や常識が異なることも興味深く思います。

大型コンピュータからパソコンへ移行したように、そして固定電話がスマートフォンに代替されたように、エネルギーも個人で管理・運用する時代になると思います。この「エネルギーマネジメント」技術は、私たちのライフスタイルに大きな影響を与えるようになるでしょう。



先生のイチオシ

ひびきのキャンパスも北方キャンパスも、大変素晴らしい図書館を利用できることに感動しました。学生と地域の自学自習を支える空間として、誇らしい施設だと思えます。日常生活に図書館を取り入れることができる幸福な環境です。

国際環境工学部
機械システム工学科

小田 拓也
教授



キャリアセンター Information

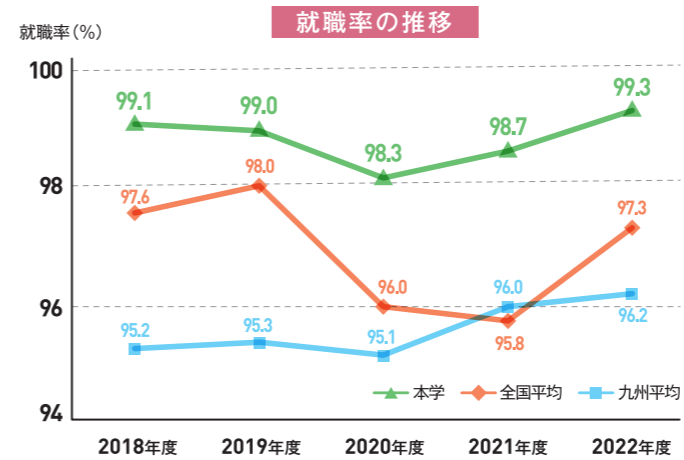
就職率
99.3%
※就職率=就職者 / 就職希望者

就職率

北九州市立大学における「2022年度学部卒業者の就職率(就職希望者に占める就職者の割合)」は、**99.3%**となり、平成元年度の調査開始以降、過去最高を更新しました。(就職率の推移:資料のとおり)

これは、全国平均の97.3%に比べ2.0ポイント、九州地区平均の96.2%に比べ3.1ポイント上回っています。

学部別の就職率では、地域創生学群が100%を達成しました。(卒業生輩出以来11年連続)



特色ある就職支援

公務員研究室

2014年度から公務員専門学校と連携して「公務員研究室」を開設しています。1~3年生は、ガイダンスで最新の試験内容や対策を知ることができます。4年生は、個別指導による2次試験の面接対策を受けることができます。



エアライン特別講座

本学では地元航空会社と連携し、学部3年生を対象とした「エアライン特別講座」を実施しています。航空業界の現状や職務内容を現役の客室乗務員等から学び、航空業界の採用試験対策を行っています。



就職支援パートナーシップ制度

本学では、出身地近郊で就職を希望する学生の就職活動支援を強化するため、就職希望地域の大学で求人情報閲覧等が可能となる「就職支援パートナーシップ制度」を実施しています。これにより本学の学生は、就職を希望する地域の全国13大学で、就職支援、就職関連資料の閲覧、就職ラウンジの利用など、本学と同様の支援が受けられます。



学生主体の実践プロジェクト(1~3年)

実践的な活動の中で、仕事をするために必要な素質、能力を身に付けることを目標としています。中でも、JOB×HUNTER(学内合同企業研究会)では、学生が、企画から企業への参加交渉、当日の運営までの全てを行います。



JOB×HUNTERを見学してみよう★

2023年11月18日(土)・19日(日)北方キャンパスでJOB×HUNTER2025が開催されます。2日間で60社の有名企業が集結する一大イベントを見学してみませんか?ご予約は下記HPから。事前予約者にはプレゼントもご準備しています! ※参加は高校1~3年生限定です

メタバース空間を活用した就活生向け合同企業研究会を開催しました

2023年6月に九州で初めて、スマホアプリで参加できるメタバース合同企業研究会を開催しました。地元北九州市内企業を中心に採用実績のある企業が出展する北九大特設会場も設置。参加した学生たちも「対面とは違い、企業の方と話しやすかった」と楽しみながらも、企業理解を深めていました。



キャリアセンター
オリジナルHP▶



「学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード」 文部科学大臣賞を受賞！

地域創生学群 片岡 寛之 教授
地域創生学群 チャレンジプログラム3年生



第6回「学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード」において全国694法人770プログラムの中から、地域創生学群チャレンジプログラムが【文部科学大臣賞】を受賞しました！

キャリアデザインプログラムアワードとは、学生の社会的・職業的自立に貢献したインターンシップやキャリア形成支援にかかる取組を表彰するものです。

受賞した【地域創生学群チャレンジプログラム】は、ハードルの高い実践活動に挑むための3年生向けのプログラムで、2つのチャレンジがあります。

- 【起業トライアル】は、5月～1月（9ヶ月間）、自ら企画した事業を自分で責任をもち継続的に実施することに挑戦するプログラム。
- 【リアル就職】は、9月～1月（5ヶ月間）、受入先企業における週3～4日のフルタイムインターンシップに挑戦するプログラム。2015年にスタートし、この8年間で合計79名の学生がこのプログラムに挑戦、受け入れ先の企業は32社にのぼります。

プログラムの企画・運営に携わってきた片岡寛之教授のコメント

これまでの8年間、チャレプロを地道に続けることができたのは、思い切って挑戦してくれた学生の皆さん、しっかりと受け入れてくださる企業様やサポートしてくださる皆様の存在があってこそだと思っています。ですから、関わってくださったすべての皆様には、大変感謝しております。

これからも、プログラムをアップデートしながら、学生の皆さんが自らの成長のために挑戦できる場であり続けられるよう、頑張っていきたいと思っています。



2023年度 成績優秀者を表彰

本学では、学業成績が特に優秀で他の学生の模範となる学生を、成績優秀者として表彰しています。



北方キャンパス 最優秀賞受賞者

学部	学科	氏名
外国語学部	英米学科	安竹美和
	中国学科	丸山詩乃
	国際関係学科	伊地知愛実
経済学部	経済学科	松田愛梨
	経営情報学科	横田奈々
文学部	比較文化学科	永野実慶
	人間関係学科	今西勇介
法学部	法律学科	古賀向日葵
	政策科学科	工藤泉美
	地域創生学群	地域創生学類

成績優秀者表彰制度

最優秀賞 対象/4年次・各学科・学類1名(計15名)

優秀賞 対象/2～4年次

奨励賞 対象/2～4年次

※選考基準は各学部・群により異なります。



ひびきのキャンパス 最優秀賞受賞者

学部	学科	氏名
国際環境工学部	エネルギー循環化学科	山崎玲奈
	機械システム工学科	張子雍
	情報システム工学科	中川颯人
	建築デザイン学科	川西紗英
	環境生命工学科	丸山キリコ

第9回瞬花祭2023開催

7月9日(日)、新型コロナウイルスの影響で3年間開催できていなかった「瞬花祭」が4年ぶりに開催されました。当日は大雨の影響で、企画の一部中止や内容変更等があらながらも地域の方々が来場し、クイズやビンゴ大会、ミニ縁日などの企画を楽しみました。

他にもメインステージではよさこいサークル灯炎やアコースティックギター一部等各サークルが公演を行い、学生も大いに盛り上げてくれました。

また、今回、小倉南警察署と小倉南消防署の協力で車両展示が行われ、親子で参加した方々が楽しそうに写真撮影をされるなど、地域の方々との交流をより深めることができた大学祭になりました。



[421Lab.] KITAQ∞「絆」復興応援プロジェクト活動スタート

「KITAQ∞『絆』復興応援プロジェクト」は、東日本大震災や西日本豪雨といった災害の風化防止活動に加え、細く長い被災地支援や防災のための啓発を続けることを基本理念として活動しています。

5月23日(火)に当プロジェクトが「絆焼うどん」を新メンバー向けに作り方を伝授する講習会を開催。そこで調理した焼うどんは、学内者を対象に無料配布し、活動PRに努めました。

「絆焼うどん」は、小倉名物の「小倉発祥焼うどん」に岩手釜石の「スルメイカ」を使用した焼うどんです。

当日は晴天にも恵まれ、約90食はあっという間になくなり、被災地支援のために募った義援金も集まりました。

今回の「絆焼うどん」講習会をポストコロナにおける活動の再起動と位置づけ、これから本格的に活動をスタート!

8月26日(土)には4年ぶりの復活開催となった「まつりみなみ2023」へ出店しました。



国内初!!「Annex2」準拠のバイオジェット燃料の製造に成功!

6月7日(水)に「国内初、国産特許技術(HiJET技術)でAnnex2準拠のバイオジェット燃料の製造に成功」というプレスリリースがNEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)から行われました。

これはNEDOの「新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業」で、北九州市立大学・環境エネルギー株式会社・一般社団法人HiBD研究所との共同研究によって実現しました。当事業には本学国際環境工学部(エネルギー循環化学科)の朝見賢二教授が携わっています。

国内の企業や大学などが「Annex2」準拠のバイオジェット燃料を製造するのは初めてのことで。



課題解決型ビジネスプラン発表会で優勝!

7月3日(月)に大学生による企業の課題解決型プレゼン発表会が九州国際大学で行われました。

この発表会は、地元企業を支援する福岡ひびき信用金庫が仲介者となり、課題を抱える企業から依頼を受けて、学生たちが新たな発想でフィールドワークなどとおして調査研究し、ビジネスプランを提案するものです。

大会は課題テーマが2つの2回構成となっており、今回は都市型障がい者グループホームが抱える経営課題「夜間支援員の安定確保のための仕組みづくり」(課題テーマ①)について調査研究を行いました。

本学学生の各チームは、4月から施設訪問、企画、検討を重ね、経済学部(経営情報学科)吉村俊英教授ゼミ内の2チーム(3年生6名)と他大学の2チームが今回の本選に臨み発表しました。

発表会では、各チームが柔軟な発想力を活かした実現性の高いアイデアを提案し、審査の結果、本学のチームが優勝しました。



Pick up 学生プロジェクト

[421Lab.] 国際交流プロジェクト FIVA

外国語学部 国際関係学科 3年

野田 蒔 (のだ まき)

プロジェクトの活動について

私たちは、「多文化共生」をテーマに、北九州YMCA学院日本語学校の留学生との日本語での交流、北九州国際技術協力協会(KITA)の研修員とは英語での交流を行っています。交流を通して参加者が日本や北九州市についての知識を得たり、互いの文化に触れたりすることを目的としています。同じ地域に暮らす留学生たちの抱える困難さを解消するお手伝いをしながら、多文化共生社会の実現に向けた課題解決に取り組んでいます。

活動を通して実感するやりがい、楽しさ難しさは？

留学生との活動を通して、多様な文化や考え方に対する理解が深まっていることを実感しています。多様な国籍を持つ人との交流を通して、これまで自分が当たり前のことだと思っていたようなことも実は日本の文化であるということに気づくことがあり、日本という国や文化を見つめ直す機会にもなっています。自分たちが企画した交流で留学生の助けになったり楽しい時間を共に過ごせたりすることが大きなやりがいだと感じています。

今後の取り組みやチャレンジしてみたいことは？

今年度は、留学生の買い物や遊び、息抜きに役立つ冊子の作成にも取り組みます。FIVAのメンバーと留学生との思い出や経験を形として残し、今後北九州を訪れる留学生の生活の助けになるような冊子を作成します。

先輩からのメッセージ

あなたは外国出身の方とどんな交流をしたいですか?外国人のサポートをしたり楽しく学び合ったりできる活動を私たちと一緒に作りましょう!



オープンキャンパスプロジェクト

経済学部 経営情報学科 3年 牧浦 佑樹 (まきうら ゆうき)

プロジェクトの活動について

オープンキャンパスプロジェクトは高校生に北九大の魅力を伝えることを目的に、学生が主体となってオープンキャンパスのイベント企画から広報活動、当日の運営まで行う活動です。活動期間は4月から7月まで4ヶ月間です。一見短く思えますが約40人のメンバーで5000人規模のイベントを動かすことになるので、とても濃く、楽しい4ヶ月間を送ることができます!!

[421Lab.] わくわくキッズプロジェクト

文学部 人間関係学科 3年

市原 藍衣 (いちばら あおい)

プロジェクトの活動について

私たちの活動の目的は、「子どもたちに特別な時間を届ける」です。目的を達成するために、日々メンバー間で意見を出し合い、企画の検討を行っています。具体的には自由研究イベントやクリスマス会等、季節ごとのイベントを企画・開催し、様々な年代の子どもたち楽しんでもらえるよう心掛けています。また、企業が主催する「子ども大工」にも参加し、子どもたちが椅子や写真立て等を組み立てるサポートもしています。

活動を通して実感するやりがい、楽しさ難しさは？

企画を検討する際、難易度は適切か、安全面に問題がないか等、何度もシミュレーションを行い、楽しんでもらうためにはどうすれば良いのか悩みながら考えています。しかし子どもたちが楽しそうに取り組んでいる姿を見ると、頑張って準備した甲斐があったなと思ひ、嬉しい気持ちになります。また、未就学児から小学生まで幅広い年代の子どもたちがイベントに参加しているため、子どもたちとの関わり方を自然と学ぶことが出来、コミュニケーション力が身につきます。

今後の取り組みやチャレンジしてみたいことは？

まだ学内では、「わくわくキッズプロジェクト」の認知度が低いため、SNSでの広報や様々な組織と連携してイベントを行い、積極的に認知度を上げていきたいと考えています。

先輩からのメッセージ

本誌面を見て、私たちの活動を初めて知った方も多くいらっしゃると思います。子どもが好きな方や工作が好きな方はもちろん、コミュニケーション能力を身につけたい方や人脈を広げたい方、ぜひ私たちの活動に参加してください!



学生フォーミュラプロジェクト KF-works

国際環境工学部 機械システム工学科 2年

西尾 光也 (にしお こうや)

プロジェクトの活動について

学生フォーミュラプロジェクト「KF-works」は小型レーシングカーを製作し、講義では学べないものづくりの総合力向上、年に一度開催される学生フォーミュラ大会の出場を目的として活動しています。取り組み内容としてはレーシングカーの部品の設計、製作を行い、その他マネジメント活動、予算、タスク管理など企業のような活動を行っています。

活動を通して実感するやりがい、楽しさ難しさは？

この活動を通して実感させられることはものづくりの難しさです。設計の段階で部品の構造を考えますが、解析の結果、安全性の問題があったり、他の部品と干渉して設計をやり直さなければならなかったり、製作面でも微妙なずれで、設計通りに部品の取り付けができなくなるなど様々です。このように設計、製作の両方で大変なことは多々ありますが、それと同時に達成感やものづくりの楽しさなどを感じることが出来ます。

今後の取り組みやチャレンジしてみたいことは？

現在、北九州産業学術推進機構の協力のもと、小型電気自動車のコムスの分解・組み立てを行い、EV製作の知識を培うプロジェクトを計画中です。

先輩からのメッセージ

学部1年次から設計や製作に携われるので、貴重な経験ができてとてもやりがいのあるプロジェクトです。皆さんも大学で貴重な経験ができる何かを探してください!



先輩からのメッセージ

食欲にいきましょう!大学は自分の選択で全てが決まります。経験は与えられるものから、自分で得るものになります。やってみて失敗するのもまた経験。躊躇してる場合じゃない。ガツガツいきましょう!



魅力発信プロジェクト

地域創生学群 地域創生学類 3年

白石 瑚春 (しらいし こはる)

プロジェクトの活動について

受験生に近い学生ならではの視点による、本学の魅力の再発見とPRを行う広報活動を行い、1年間を通して、北九大の魅力をより多くの人に伝えるべく活動しています。具体的な活動内容は、高校生にキャンパスを案内するキャンパスツアーや、学校生活や受験体験談を語るプレゼンテーションです。学生目線での大学PR活動は、高校生や高校教員、保護者の皆様から大変好評いただいています。

活動を通して実感するやりがい、楽しさ難しさは？

活動を通して、広報の手法はもちろん、コミュニケーションスキルやプレゼンテーションスキルの向上を図ることが出来ます。自分が高校生だった頃を思い出しながら、一緒になって受験について考えたり、悩みに寄り添ったりすることを心掛けて活動しています。キャンパスツアーやプレゼンテーションで、キラキラと目を輝かせて話を聞いてくれて、帰るときに「受験勉強頑張れそうです!」と話してくれた時はとても嬉しかったです。

今後の取り組みやチャレンジしてみたいことは？

夏休み中に県外で、出張ガイダンスが行われます。そこで、より多くの高校生や保護者の方に北九大の魅力を発信しています!これからも、キャンパス内に留まらず活動範囲を広げて行きたいです。

先輩からのメッセージ

受験生の時は自分との戦いで、逃げ出したくなる時もあると思います。しかし、乗り越えた先にはキラキラした大学生活が待っています!是非、私たちと一緒に北九大の魅力を発信しませんか?

